

二宮金次郎 を探せ!

県内に二宮金次郎像はいったいいくつあるのか

県内に二宮金次郎像はいったいいくつあるのか

県内に二宮金次郎像はいったいいくつあるのか



生い立ち

二宮金次郎(尊徳)は1787年(天明7年)足柄上郡栢山村(現小田原市栢山)の農家の長男に生まれたが、14歳で父に16歳で母と死別してしまった。当時の酒匂川の氾濫以降、金次郎は伯父(万兵衛)の家に身を寄せた。昼は仕事をし夜は行灯を使っての勉学であった。しかし万兵衛は、金次郎が一人前の百姓になるよう体に気づかい、行灯での勉学を禁じたのであった。そこで勉学とりわけ本を読む機会は、山で薪を取り町に売りに行く道すがらなどであった。背中に薪を片手に本を持った像は、ふところに入れた本を時折手にして見た姿がモデルになったと考えられる。

募集期間

平成21年10月～22年3月

神奈川県土地家屋調査士会では、神奈川県内すべての国土調査の先駆者である二宮金次郎像を探し、像の写真、像付近の緯度経度(GPS観測)を表示した地図を作成し、二宮金次郎(尊徳)の功績等を掲載した冊子を作成し各小学校や図書館に寄贈します。(小学4年生ぐらいを対象)としています。神奈川県土地家屋調査士会会員約920名ですべての小学校を調査します。

神奈川県土地家屋調査士会
担当 広報部
TEL.045-312-1177

※詳細は下記アドレスへ

<http://www.kanagawa-chousashi.or.jp/>